

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

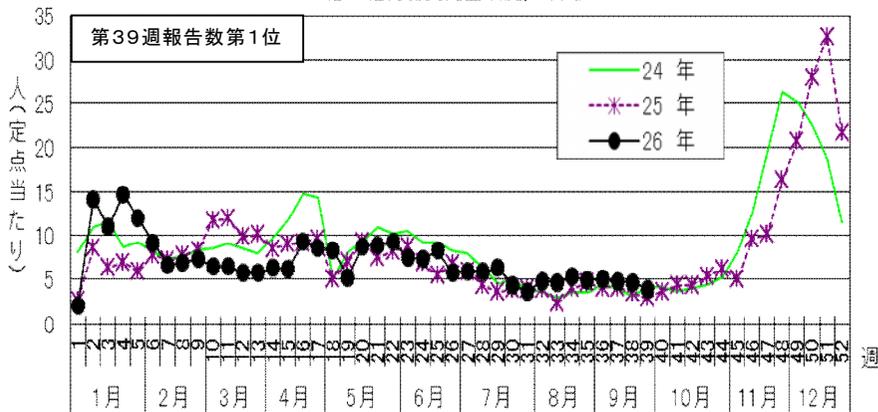
平成26年9月22日（月）～平成26年9月28日（日）〔平成26年第39週〕の感染症発生状況

第39週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)ヘルパンギーナでした。感染性胃腸炎は定点当たり4.00人と前週（4.70）から患者報告数は減少し、例年とほぼ同じレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり0.94人と前週（0.70）から患者報告数はほぼ横ばいで、例年とほぼ同じレベルで推移しています。

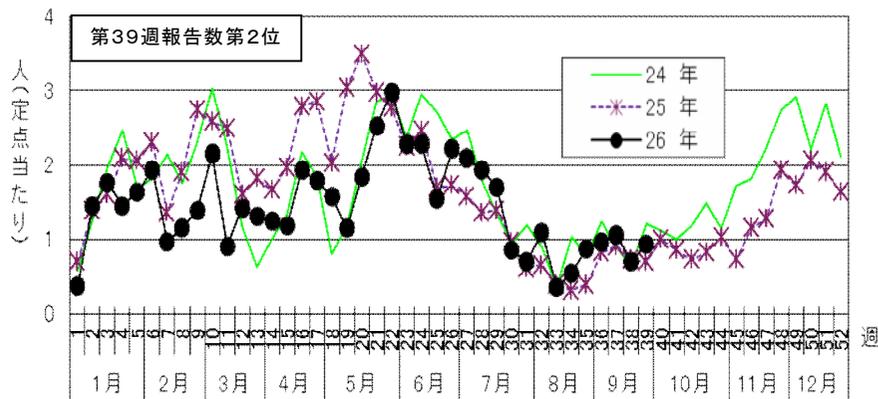
ヘルパンギーナは定点当たり0.85人と前週（0.88）から患者報告数はほぼ横ばいで、例年とほぼ同じレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)

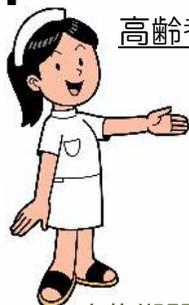


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



高齢者インフルエンザ予防接種事業が始まります！

高齢者の方はインフルエンザ予防接種を公費負担で受けられます。（一部自己負担あり）



対象となる方（次の3つの条件を全て満たす方）

- 川崎市にお住まいの方
- 接種日に満65歳以上の方、若しくは満60～64歳で次の※に該当する方
※心臓病、腎臓病、呼吸器の機能障害又はHIVによる免疫機能障害のある方（障害1級程度）
- 接種を受けようとするご本人が接種を希望していること

実施期間と回数

平成26年10月1日～12月31日の間に1回

接種を受けられる場所

市が指定した市内の協力医療機関（約600施設）
※お近くの医療機関又は保健福祉センター（保健所）
にお問い合わせください。

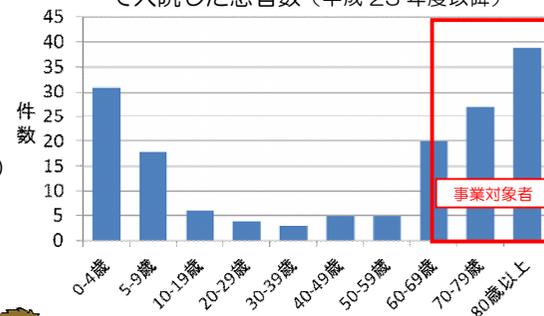
自己負担金

2,000円（接種を受けた医療機関にお支払いください）

ただし、以下のいずれかに該当する方は接種費用が無料になります。接種を受ける前にお問い合わせください。

- ①生活保護世帯に属する方
- ②市・県民税非課税世帯（世帯全員が非課税）に属する方
- ③中国残留邦人等の円滑な帰国の促進並びに永住帰国した中国残留邦人等及び特定配偶者の自立の支援に関する法律に基づく支援給付を受けている方

川崎市内在基幹定点病院においてインフルエンザで入院した患者数（平成23年度以降）



インフルエンザ予防接種は接種を受ける法律上の義務はありません。本事業に関するお問い合わせは、お近くの区役所保健福祉センター地域保健福祉課までご連絡ください。